

第 4 学年 学習指導案 ①

1. 題材名 「水の大切さと備蓄食品の保管について知ろう」

2. 題材について

(題材観)

本題材は、災害時の食に関する内容である。現代の子どもたちは常に災害の危険にさらされている。そこで災害時にも自分の健康を守ることの出来る児童に育てることを目標に本題材を設定した。このことは心身の健康を守るという『食に関する指導の目標』を具体化することにもなり意義深いと考える。

3. 学習目標

(食育の視点)

4. 本時の展開

	主な学習活動	○発問 ◇予想される児童の反応	学習教材等
導入 (つかむ5分)	日常生活で水を使う場面を 思い浮かべる	○もし、災害で水が止まったらどんなことが 出来なくなるか？考えよう。 ◇飲み水 ◇歯みがき ◇ お風呂 ◇皿洗い ◇トイレ	PPT パソコン プロジェクター 備蓄用の水 備蓄食品
展開 (ふかめる) 10分	水や食品の備蓄が必要なことを 知り、備蓄の場所を考える ローリングストックについて クイズに答える	○ローリングストックについて説明する ◇備蓄に適した場所は？ ◇備蓄 ○自宅ではどうやって備蓄するのが 良いのだろう？	
終末 (まとめる5分)	教師の話を聞く 振り返りを書く		ワークシート

第 4 学年 学習指導案 ②

1. 題材名 「災害時の食について知ろう」

2. 題材について

(題材観)

本題材は災害時の食に関する内容である。現代の子どもたちは常に災害の危険にさらされている。今年に入って、能登半島地震がおき、連日テレビ報道などでも児童にとって、災害時の様子について視覚的に実感することが多く、地震による倒壊が避難生活が決して他人事ではなく、いつ自分達の身に降りかかってくりかもしれないという意識を強く感じて生活している。災害時には大人だけでなく自分達児童も災害時の働き手として、正しい知識を持って、避難所での生活を支える側にならないといけない可能性があることを前回の防災教室で学んでいる。

そこで災害時にも自分の健康を守ることの出来る児童に育てることを目標に本題材を設定した。

このことは心身の健康を守るという『食に関する指導の目標』を具体化することにもなり意義深いと考える。

3. 学習目標

・災害時における、備蓄食品を使った食事について、健康的に過ごす方法を知ろう

(食育の視点) 食品を選択する力。 心身の健康。

4. 本時の展開

	主な学習活動	○発問 ◇予想される児童の反応	学習教材等
導入 (つかむ 10)	地震など災害時にどんな生活になるだろう？ 前回の振り返り。 ライフライン復活までに どれくらいの日数がかかる？	○もし、災害でライフラインが止まったら どんな生活になるだろうか？	PPT テレビ タブレット
展開 (ふかめる) 10分	災害時に、備蓄食品だけで元気に過ごすにはどんな食品を選べば良いか考えよう やってみよう	○めあて 災害時の食事を考えよう ○赤・黄・緑のはたらきを確かめる ◇備蓄食品では、どのようなものが 赤・黄・緑の食品になっているだろうか？ ◇備蓄食品のカードを組み合わせ、夕食の献立を考えることが出来るか？	備蓄食品カード ホワイトボード
終末 (まとめる 5分)	教師の話を聞く 振り返りを書く	◇健康に良い食事を選ぶことが出来たか？ ◇なぜかたよった食生活が良くないか 理解できたか？	ワークシート